

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】: **幸せを創造し続けるまちSAKAI**

「幸せを創造し続けるまち」とは、**誰もが生きがいを感じ住み続けたいと思える魅力を、市民、事業者、大学、行政等が連携して持続的に創出し続けるまち**である。
本市においては、将来都市像の実現に向けた取組を効果的に進めるため、**経済、コミュニティ、環境が相互連鎖的に高め合い、将来にわたって発展し続ける『持続可能な魅力創造』**を基本理念とする。

① 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境 c)自然環境・生物多様性
<課題・目標>①環境-1
本市臨海部の拠点となる堺浜において、人工海浜を整備し、豊かな生態系の回復・水質改善をすることにより、市民の元気と賑わいを創出する。
<取組方針>
○臨海部泊地内の環境回復と親水空間の創出

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

a.白砂青松・茅渚(ちぬ)の海再生プロジェクト
【概要】
本事業は、大阪湾の湾奥部である堺浜において、浅場を造成して藻類の生育しやすい環境を整えることにより水質浄化をおこない、生物と市民が集まる海域を取り戻すことを目的としている。

② 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境 a)低炭素・省エネルギー①
<課題・目標>①環境-2
藻類等が拓く自然・資源・エネルギーの再生型生産システムを構築し、次世代エネルギーの創出、CO2の吸収・固定などのコベネフィットを生み出す。
<取組方針>
○生産及び廃棄バイオマスを活用した再生可能エネルギー生産の拡大

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

a.21世紀型バイオマス・リファイナリー・システムの構築
【概要】
①海・淡水系藻類ファーム事業、②藻類からの油脂類等の抽出事業、③藻類と廃食品等による海陸一体型メタン発酵事業、④消化液や炭化物による植物工場事業の4事業による堺版サプライチェーンを構築する。

③ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境 a)低炭素・省エネルギー②
<課題・目標>①環境-3
エネルギーの地産地消を行うことによって、魅力が弾ける参加・協働型の減災都市づくりをめざす。
<取組方針>
(1)再生可能エネルギーの創出
(2)ネット・ゼロ・エネルギー・タウンの普及促進
(3)地域熱供給システムの構築
(4)環境格付融資の実施

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

a.未利用エネルギー資源を利用した低炭素型の都市システムの構築
【概要】
臨海部工場群より排出される排熱エネルギーと下水処理関連施設(下水処理場、ポンプ場、下水道幹線)の下水熱を利用した事業を実施する。
b.民間資金を活用したまちなかへのソーラー発電設置モデルの構築
【概要】
太陽光発電の普及に自立性、持続性を持たせるため、市民及び民間の資金力を活用した事業推進モデルを構築する。
c.次世代ライフスタイルのモデルとなるネット・ゼロ・エネルギー・タウンの整備
【概要】
ネット・ゼロ・エネルギー・タウンの実現と新たな価値を見出す地域環境、エコライフスタイルなど低炭素街区形成に係る先導的モデルを構築する。
d.地域の金融機関連携による環境格付融資の展開
【概要】
市内中小企業の環境投資の拡大を目標に、市内金融機関が連携して環境格付融資を実施し、企業の環境配慮型企業活動を促進する。

④ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化 g)地域の介護・福祉
<課題・目標>②超高齢化対応
住み慣れた地域で、様々なライフステージをもつ高齢者が、安心していきいきと生活できる仕組みを創出する。
<取組方針>
○高齢者の生命、生活、資産、住環境を総合的にマネジメントするための仕組みを泉北ニュータウンをモデル地域として整備

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

a.泉北ほっとけないネットワークの拡大による地域の共助モデル構築
【概要】
高齢者や障害者など誰もが住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らせる環境づくりを進めるため、地域全体で支え合う福祉の仕組み(共助モデル)及び活動する機会を創出する仕組み(自助モデル)を構築する。
b.高齢者の移動利便性を高めるコミュニティ交通の整備
【概要】
高齢者の移動不便を解消するため、操作性・安全性に優れた新たな交通手段である超コンパクトモビリティを地域に導入する。(GPSなど非常時通信機能も搭載予定)
c.《再掲》次世代ライフスタイルのモデルとなるネット・ゼロ・エネルギー・タウンの整備

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1. (3)①】

<①環境-1、①環境-2、②超高齢化対応>

環境関連の新産業の創出における雇用機会、積極的に高齢者を活用することで、雇用側では高齢者の知識・経験を生かせ、高齢者は社会活動の参画機会(雇用)を得ることができ、相乗効果が生じる。また、副次的効果として、高齢者の生きがいを創出することにより健康が維持され、医療費・介護費などの財政支出も抑制できる。

<①環境-2、②超高齢化対応>

市民の各世代における、エコライフを実現するモデル街区や取組への参画等により、太陽光パネルや高効率給湯器などの環境製品の導入が進むことで関連産業が活性化され、温室効果ガス削減が実現するとともに、市民の意識向上、世代間交流も促進される。また、副次的効果として、エネルギー自給率が向上した安心、安全なまちづくりが実現し、まちの魅力度が向上する。